

テストのまちがい直しをしよう

GWが終わり約半数の中学校で中間テストが実施されました。特に中1の生徒にとっては初めての定期テストです。約1週間前に中学校から配布されるテスト範囲表を見て提出すべき課題の多さに驚いたかもしれませんが、まずは課題をこなすことが通知表アップに繋がることはいまでもありません。特進館では「提出物をていねいに美しく」を繰り返し指導していますので、家庭の方でも声掛けをしていただければありがたいです。

中間テストが終了すると、まずはテストのまちがい直しをすることが大切です。特に点数が低い場合に生徒はテストを振り返らない傾向があります。このことが苦手教科を作り出す原因の一つだと考えます。得意教科・苦手教科は中1の時点では確定していません。学校のテストだと中間テストで反省して期末テストでは30点以上上げる生徒が出てきます。〔野垣勝彦〕

5、6月のおもなスケジュール

5/28	日	第2回公開テスト(中3)
6/3	土	中1保護者会(13時~14時半) 中2保護者会(15時~16時半)
9	金	期末攻略深夜特訓
10	土	期末直前ゼミ
11	日	ワークGARIBEN
17	土	期末直前ゼミ
18	日	ワークGARIBEN
24	土	期末直前ゼミ 算数・数学・思考力検定
28	日	ワークGARIBEN
30	金	教育相談会①【授業なし】

※7/1・3・4も教育相談会を実施いたします。

感謝の気持ちを伝えよう

今週の日曜日は「母の日」でした。母の日はお母さんに日頃の感謝を伝える日です。皆さんは、母の日をどのように過ごしたのでしょうか。

感謝の気持ちを伝えそびれてしまった人は、今からでも間に合います。

普段は照れ臭かったり、恥ずかしかったりでなかなか口に出せないと思いますが、今がチャンスです。母の日にあやかって、いつもお世話になっているお母さんに改めて感謝の気持ちを伝えましょう。きっと母の日が背中を押してくれます。

そして約1か月後の6/18(日)は父の日です。お父さんにも感謝の気持ちを伝えよう。〔後藤綾祐美〕

特進館学院名物
期末攻略深夜特訓
6/9金 22:20~27:00
中1~高3/参加無料 一般生歓迎

“特進館名物、伝説的人気の、期末テスト点数UP特別企画『期末攻略深夜特訓』を今年も開催いたします。

スーパー『MANDAI』オープンは、「6月3日(土)」となります。当初は、既存駐車場の混雑が予想されますので、満車の時はコーナン屋上駐車場も併せてご利用ください。

本部事務局より

6月分学費の振替日は5/29(月)となっております。

先月号の特進館通信にも記載させていただきましたが6月分の学費と合算して、公開テスト受験料(小学生:¥2,800、中学生¥3,300)をご請求させていただいております。金額の詳細につきましては明細をご確認ください。

2017夏期講習のおもなスケジュール

- 夏期講習…7/24~8/30
- お盆休み…8/11~8/17
- 中3合宿…8/28~8/30

世界と日本の出会いと別れ

●年代別 世界人口の変化

日本で1日に生まれる赤ちゃんの数は2,934人、死亡する人の数は3,279人。その差は345人。若干ですが死者の方が上回っていて、このままでは将来の日本の人口減少は避けられなさそうです。

しかし世界の1日の出生数と死亡数を比較すると、出生数が死亡数を大きく上回り、驚くべきことに、出生数は死亡数の2倍以上の数になります。近年、その人口増加のスピードが、未来の食糧危機を引き起こすとも言われています。

人口増加の爆発的なスピードは、年代別の世界人口の変化を見ると一目瞭然です。地球で養える世界人口は一部の学者の中で約80億人と言われていたのですが、その人口に到達するのは2024年予定です。食糧問題のタイムリミットは、刻一刻と迫ってきているのかもしれません。

世界の1日の〇〇ランキングを見ると中国が婚姻数・離婚数・死亡者数で断トツ。さすが世界人口数ナンバー1の13億人が生活している国だとうなずけます。ちなみに2022年以降は、インドが世界最多の国になると予想されています。〔北村昌弘〕

年代	予想世界人口
1950年	約25億人
1960年	約30億人
1970年	約36億人
1980年	約44億人
1990年	約53億人
2000年	約61億人
2010年	約69億人
2020年	約77億人
2030年	約85億人
2040年	約91億人
2050年	約97億人
2060年	約101億人

編集後記

日本には四季がありますが、最近は春と秋が短くなったといわれます。確かに、薄手の長袖で過ごす期間が短くなり、冬物を片付けたと思ったら、すぐに半袖の出番だったりします。真夏の熱中症も考慮して、春の運動会実施が増えておりますが、今年は5月でも真夏日が観測され、熱中症対策が求められています。梅雨時期を迎える6月…湿度の上昇とともに、熱中症のリスクも高まります。何度も耳にする言葉ですが、「のどが渴いたと感じる前の水分補給」で熱中症予防に努めたいものです。